

一般質問

◆本市農業の振興計画について

質問 本市の農業従事者を取り巻く情勢は厳しさを増している。現状と課題について伺う。

答弁 持続的な発展を実現するには、農業の中核となる経営感覚と経営力を備えた担い手や新規就農者を確保し、水稲依存から収益性の高い農産物の生産を推進する必要がある。

質問 認定農業者の確保や育成について、現状と目標を伺う。

答弁 個人経営体の平均年齢は63・9歳、高齢化が進行し年々減少の傾向にある。認定農業者の目標割合を、令和3年度の17・5%から令和9年度末で20%と設定しており農業関係機関や団体と周知に努め、認定制度の積極的な活用を推進していく。

◆湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

質問 施設の二階には図書館、歴史展示機能が配置されるがジオパークの関連資料や、ジオサイトの紹介を入れることにより一般の方だけでなく、小・中学生も学びの場となる。創意工夫をし、観光PRや物産販売など

も考えてほしいが見解を伺う。

答弁 内容を含め、市としての考えを指定管理者側に随時伝えていく。

◆中学校部活動地域移行推進事業について

質問 人口減少や少子化、学校の働き方改革など、運営体制も厳しくなり、地域移行は地域の連携を強化し生徒が所属する部活動がしっかりとできるような環境整備を整えることが大切だが教育長の見解を伺う。

答弁 運営主体の確保と併せ進捗状況を子供たちや保護者へお知らせし、具体的な姿を早くつかんでいただき、理解を得ながら進めたい。市民や学校、行政が力を合わせて、情報発信を含めた地域移行を進めていきたい。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。

◆人口減少と高齢化対策について

質問 地方創生の下、地域の将来像を描いて十年経過したが、その効果と実績について伺う。

答弁 移住・定住施策の推進、人口減少に備えた施策の強化及び若い世代への未来投資型人材育成施策の推進により、持続可能な地域づくりを基本的な視点に据え、様々な施策に積極的に取り組む、平成30年度から令和5年度までに計126人の移住者を受け入れている。

質問 人口減少と高齢化の進行が避けられない中、地域社会を維持していくための高齢化対策を伺う。

答弁 高齢者の見守りや除排雪に係る共助体制への支援、地域による見守りや支え合い活動などに取り組み、安心して暮らせる地域社会を目指していく。

質問 加速的に進む高齢化と若者の減少により、共助体制が低下してきている地域自治組織との連携について伺う。

答弁 不足する地域人材について、支援職員や集落支援員などによるきめ細かな支援を継続し、ワークショップ等による課題解決に向けた取り組みを地域

と連携して実施していく。

◆少子化対策について

質問 少子化対策には直接的な経済支援も大切であるが、本市としてのビジョンを示し、総合的かつ長期にわたる粘り強い対応が必要だと思うが、考えを伺う。

答弁 湯沢市こども計画の策定を進めており、実情に応じた課題解決に全庁を挙げて取り組み、加速度的に進行する少子化を抑制していきたい。

質問 合計特殊出生率が県平均を下回っているが、対応策を伺う。

答弁 子育てしやすい環境づくりを推進すると共に、地域の未来を担う若者への未来投資により、地元定着を促進していく。



湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
一般質問の動画を
ご覧になれます。